

科目名	乳児保育Ⅱ				担当	西澤 智恵子		
形態	演習	単位数	1	開講時期	1年後期	実務経験	保育士として保育施設で勤務経験有	
必修	保育士：必修				ナンバリング	Y3302	DPとの関連	3
授業概要	3歳未満児の発育・発達過程や特性を踏まえた援助や関わりの方針について理解するとともに、養護及び教育の一体性を踏まえ、子どもの生活や遊びと保育の方法及び環境について理解し、指導計画の実際についても具体的に理解する。							
到達目標 学習成果	<ul style="list-style-type: none"> ・乳児保育の基本を理解する ・乳児保育における子どもの発育発達を踏まえた生活と遊びの実際を理解する ・乳児保育における配慮の実際を理解する ・乳児保育における計画の実際を理解する 							
授業計画	回	内容						
	1	子どもと保育士との関係の重要性	「生命の保持」と「情緒の安定」について理解する					
	2	個々の子どもに応じた援助や受容的応答的な関わり	愛情豊かに応答的にかかわることで信頼感を発達させていくことを理解する					
	3	主体性の尊重と自己の育ち及び体験と学びの芽生え	養護の視点から乳児にどうかかわっていくかを考える					
	4	1日の生活の流れと生活や遊びを支える環境の構成	子どもを取り巻く3つの環境について理解する					
	5	発育発達を踏まえた生活と援助の実際（実習）	3歳未満児の発育発達について理解する（ディスカッション・グループワーク・ロールプレイ）					
	6	授乳・沐浴の演習	粉ミルクの調乳や授乳の仕方・沐浴の仕方を演習する（ディスカッション・グループワーク・ロールプレイ）					
	7	発育発達を踏まえた遊び及び子ども同士の関わりと援助の実際	3歳未満児の遊びの特性について理解する					
	8	3歳未満児の発育発達に合わせた遊びと援助の実際①	子どもの発育発達を踏まえた遊びや玩具を考え製作する（調べ学習・ディスカッション・グループワーク）					
	9	3歳未満児の発育発達に合わせた遊びと援助の実際②	子どもの発育発達を踏まえた遊びや玩具を考え製作するとともに、グループで話し合いながら学びを深める（ディスカッション・グループワーク・プレゼンテーション）					
	10	心身の健康、安全と情緒の安定を図るための配慮	保育と健康支援・安全管理について理解する					
	11	集団での生活における配慮	予防接種・病気・けがなどの対応を理解する					
	12	環境の変化や移行に対する配慮	子どもにとってどのような配慮が必要なのかを考える（ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーション）					
	13	長期的な指導計画と短期的な指導計画	全体的な計画を具体化していく計画について理解する					
	14	個別的指導計画と集団の指導計画	発育発達による計画の違いを理解する					
15	保育実習に向けて	保育マインドとマナーについて理解する						
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・発育発達過程や特性を踏まえた関わり及び配慮について理解しているか ・生活や遊びと保育の方法及び環境について理解し、指導計画についても理解しているか 							
評価方法	授業態度 30% 期末試験 50% その他 20%（提出物・課題への取り組み方）							
フィードバック方法	課題については授業中に講評する							
アクティブラーニング	調べ学習・ディスカッション・グループワーク・プレゼンテーション・ロールプレイ							
教科書	『乳児保育』 待井和江・福岡貞子編／ミネルヴァ書房『保育所保育指針』							
参考書	必要に応じて指示する							
履修条件	<ul style="list-style-type: none"> ・「乳児保育Ⅰ」を受講していること ・ひとり一人の子どもを深く愛し大切に育てようとする気持ちを高め、授業に真剣に取り組むことを望む 							
授業外学習	授業計画で示された事項について日常的に好奇心を持ち保育所保育指針を読み深めること。授業で扱われた事項に関する学びと課題に取り組むこと。							
オフィスアワー	授業日に講師室で対応する							